

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2860号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

9/1

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

太田支店の営業開始

関東西濃運輸

貨物増対応と品質向上

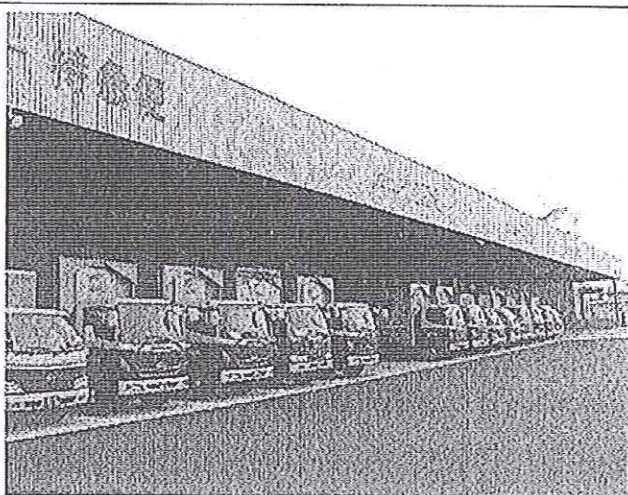
関東西濃運輸(本社・群馬県安中市、高橋政雄社長)は八月二十四日、太田支店の営業を開始した。太田営業所を新築移転し、支店に昇格。敷地で三倍、ターミナルで五倍、人員で一・五倍の新施設で、輸送品質の向上を図り、貨物需要増加の対応と新規開拓を進める。

所在地は群馬県太田市安良岡町二一八ノ一。国道一二号沿いで北関東自動車道太田桐生ICの至近地。敷地面積は約一万九千平方メートル。鉄骨造り二階建ての管理棟(延べ六百八十四平方メートル)と二〇五×三八メートルのホームを持つ。総工費は約二十億円。ホームはセキュリティと品質を高めるため、防犯カメラを設置。両面にオーバースライダーを取

り付けた。配置車両は五十六台。従業員数は八十人。集配エリアは太田・桐生・みどりの三市と邑楽郡。目標貨物取扱量は一日四百トン。太田市は人口二十二万人。製造出荷額は北関東で一位。農業など二次産業も盛ん。平成二十三年秋には北関東道が全通する。関越

および東北道とつながり、輸送需要の拡大が期待されている。同日行われたしゅん工式で高橋社長は「厳しい時期のしゅん工だが、ピ

ンチをチャンスに変えた。元氣と情熱、そして礼節で、わが社一番の店にしてほしい」と社員を激励した。旧太田営業所は外部に賃貸される予定。(森島 泰彦)



敷地で旧太田営業所の3倍の規模になった太田支店